



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

伝道12・1～14  
創造者を見る  
あなたの若い日に、あなたの創造者を見えよ。

伝道者の書12・1  
目 標  
創造者なる神を信じる生涯の幸を知る。

## 7月4日（日）

聖書  
聖句

伝道 12・1～14  
あなたの若い日に、あなたの創造者を見えよ。 1節

あなたにとって一番若い日は「今日！」ですね。「今日！」造り主である神様を、救い主であるイエスを信じていることができたなら最高だと思います。

これは今何才の人にも言えることですが、伝道者の書はまちがいに「幼い日、若い日に創造者を信じることは、大切であり幸せなことです」と言っています。今教会へ来ているお友だちは本当に幸せな子どもたちですよ！造り主があなたのために計画されていることが行われ、神様のお働きのため長く用いていただけるのです。

いのちの祈り  
天のお父さま、若い日にこのようにして、教会に来ることができて感謝します。あなたのためにお願いください。

## 7月5日（月）

聖書  
聖句

伝道3・1～11  
神のなさることは、すべて時にか  
なって美しい。 11節

きれいなお花は、人々の心を明るくしてくれます。お花をつくってくださったのは神様です。その神様は、あなたの心も、お花のように美しい心にしてくださいます。美しいお花を見るたびに、創造者である神様を思い出しましょう。もう一つ美しいものがあります。それは神様の時です。伝道者の書には、いろんな時、いろんなタイミングが記されています。どんなことにもタイミングが大切です。あなたが若い日に神様を信じて救われ、そしてあなた自身を神様に献げるなら、それは最高に美しいことです。

いのちの祈り  
天のお父さま、一番よい時に美しいことをなしてくださるあなたに全てをおゆだねします。

## 7月6日（火）

聖書  
聖句

伝道4・9～16  
貧しくても知恵のある若者は、忠告を受け入れなくなった年老いた愚かな王にまさる。 13節

どんなに立派な王様になっても、年を重ねるうちに愚かになって、よくないことをした者に対して何の忠告も警告もできないのは困ります。それに比べて、貧しいけれども賢い子どもの方がすぐれていると書かれています。私たちが賢い者にしてもらえるものは聖書のみ言葉です。だから小さい時から、字が読めるようになったらすぐたくさんのみ言葉に親しみ、覚えられとすばらしいですね。家庭礼拝や祈祷会でもしっかりみ言葉を読みましょう。

いのちの祈り  
天のお父さま、小さい私ですが聖書をしっかり読んで、覚えさせます。神様の知恵を心に満たしてください。

## 7月7日（水）



伝道9・9～10

あなたの手がなし得ると分かったことはすべて、自分の力でそれをせよ。  
10節

このみ言葉は、わたしたちの信仰の霊の流れのもととなられたB・F・バックストン家の家訓のみ言葉です。バックストン家の子どもたちへの教育、霊育はすばらしいものでした。共に聖書を開き、その聖書にしるしをつけるのでした。A・P（アンサーズ・ツウプレイヤー）（祈りの答え）とかL・G（ラブ・オブゴッド）（神の愛）など。朝食の時には、全員み言葉を一句ずつ暗唱しました。“力を、全員み言葉を一句ずつ暗唱しました。”（口語訳）この家訓のもとに優秀な神の器たちが世界におくり出されました。

いの祈り

天のお父さま、家族みんないっしょに聖書を読み、お祈りをし、家族が神様のお役にたつようにしてください。

## 7月8日（木）



伝道11・1

あなたのパンを水の上に投げよ。ずっと後の日になって、あなたはそれを見出す。  
1節

パンを水の上に投げるなんて、ほんとに全く無駄としか思えないようなことをやっていると思ってしまう。誰かのためのお祈りや、トラクト配布、手紙伝道など、神様のことを伝えようとするときに、そう思うかも知れませんね。水の上に投げられたパンは水の中にふやけてなくなっていくか、鳥か魚にパクリと食べられてしまうかです。でも聖書には、「ずっと後の日になって、あなたはそれを見出す。」と記されています。私たちはみ言葉を信じて伝道に励みましょう。

いの祈り

天のお父さま、ちょっと見ただけではムダのように見えることも、愛をこめてすることが出来ますように。

## 7月9日（金）



ガラテヤ6・6～8

御霊に蒔く者は、御霊から永遠のいのちを刈り取るのです。  
8節

まくこと刈ることについて考えましょう。種まきをしたことありますか。楽しいですね。スイカの種をまけばスイカを収穫します。人は自分のまいたものを刈り取ることであります。肉にまくとは？ 自分の欲ばりの思いで日を過ごすことです。食べ過ぎていろんな病気になるように、肉にまく者は肉から滅びを刈り取ります。霊にまくとは？ 霊なる神の言われるとおりとすると、神様の祝福と永遠のいのちが与えられます。

いの祈り

天のお父さま、まくものを刈り取ることをよく知って、自分の欲ではなく、あなたの言われる通り歩ませてください。

## 7月10日（土）



ガラテヤ6・9～10

失望せずに善を行いましょう。あきらめずに続けられ、時が来て刈り取ることにあります。  
9節

種をまいても次の日すぐに芽は出ません。まだかなあって待ちくたびれることもあるかも知れませんね。善いことをしつづけることが大切ですと、今日のみ言葉は言います。疲れてあきらめたりしないように。なまけないで、つまりやめないでやりつづけていくと、うれしい刈り取りがあるにちがいありません。だから機会を見つけて、だれにでも、特に信仰の友たちである教会のみんなに対して、刈り取りを楽しみにして善を行いつづけましょう。

いの祈り

天のお父さま、してほしいと思う善いことを、まわりの信仰の友にしてあげることが出来ますように。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 9・1～11

世の光であるキリスト

わたしが世にいる間は、わたしが世の光です。 ヨハネ 9・5

目標

世の光であるキリストの救いにあずかり、キリストに従って生きる。

7月11日(日)

聖書  
聖句

ヨハネ 9・5

わたしが世にいる間は、わたしが世の光です。 5節

だれも解決できない「死」と「罪」の問題で、まっくらやみのあるいていたわたしたちにとって、イエス様はまさに「世の光」!

つまり「もうだめだ」と泣き、あきらめるだけの人生から、イエス様によって生まれかわって「新しい人生の希望」をみつけた人にとって、イエス様は太陽のようだってこと!

でもね、イエス様の光を全身に受けたわたしたちもまた、月が太陽の光を反射してピカ～! と輝くように、輝くことができるんだ。

あなたが生きる間、あなたもまた「光」の存在となって、多くの人を輝かせたいね。

祈り

天のお父様、イエス様からうけた光を、まわりにも輝かせる者としてください。

7月12日(月)

聖書  
聖句

ヨハネ 9・1～2

この人が盲目で生まれたのは、だれが罪を犯したからですか。 2節

わたしがこうなったのは、あのせい? それともこのせい? と、起こったことの理由をさがすのは、むかしも今もおなじだね。

「因果応報」といって、ものごとが起きるのにはなにか原因があるから、という意味だけど、ときには、どうやっても原因が見つからないこともあるのに、無理やり見つける人も…。

イエス様の時代には、人が生まれつき病気の人は、その人の魂がもともと悪かったからだとか、だれか家族が悪いことをしたから呪いを受けたのだと考えていました。さんねんだな…

こたえは神様に聞くべきだよね!

祈り

天のお父様、なにかやだれかのせいにする者から、あなたにこたえを聞く者にしててください。

7月13日(火)

聖書  
聖句

ヨハネ 9・3

この人に神のわざが現れるためです。 3節

みんなが口をそろえて、つめたい言葉を病氣の人になげつけるときも、イエス様の言葉はまったくちがう「愛」のことばです。

イエス様は「ただ神のみわざが現れるため」と言ったね。それは、その人が呪いを受けているのではなく、神様がどんなに愛してくださるかを知り、イエス様の命で生れかわって、神様をほめたたえる人になるため、ということ。

こたえない苦しみをしている人はいますか? イエス様はあなたにも、神様のすばらしさをもっと知ってほしいとねがっておられます。

祈り

天のお父様、つらいことがあったとき、それを祝福に変えてくださるあなたにもっと近づくことができますように。

## 7月14日（水）

聖書  
聖句

ヨハネ 9・4

わたしたちは、わたしを遣わされた  
方のわざを、昼のうちに行なければ  
なりません。 4節

パッと心の目が開かれて、神様に「わたし  
は罪人です、赦してください」と言えた人は、  
真ッ暗闇から昼の世界に出てきた人です。でも、  
いつまでも「わたしこそが正しい!」「わたし  
の人生は明るい」と思っている人もいます。そ  
のような人は心の目が開かず、自分が暗闇に  
いることがわからずにいるのです。

やがて、人生が終わり、神様の前に立つ日が  
すべての人にきます。そうなる前に、さきに昼  
の世界に出たあなたも、人のためにどんなこと  
ができるだろうと、考えてみてください。

いの  
祈り

天のお父様、たくさんの人と昼の世界に  
生きるために、わたしも自分にできるこ  
とを考えていきます。

## 7月15日（木）

聖書  
聖句

ヨハネ 9・6~7

そこで、彼は行って洗った。すると、  
見えるようになり、帰って行った。 7節

目が見えなかった人が見えるようになった  
のはどうして? イエス様がどろを目にぬって  
くれたから? シロアムの池で洗ったから?

人は「だれか」がなにかをしたから、と考  
えます。でも「自分が」イエス様の言われたとお  
りにしていなかったら、どうなっていたかな?

そう、いちばんたいせつなのは「みことばを  
聞いたら、それに従う」ということなのです。

イエス様はあなたを、聞いたとおりに行  
う人として、遣わしたい! とねがっているよ。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様のねがっておられ  
る「聞いて行

## 7月16日（金）

聖書  
聖句

ヨハネ 9・8~9

私がその人です。

9節

ぜったいだめだ、とだれもが思うようなこと  
がいっしゅんで解決したとき、「きせきだね」  
という人と「ラッキーだね」という人にわかれ  
るでしょう。とくに大きな病気がなおって、ま  
るで別人のようになったらどうでしょうね。

神様を信じる前後のわたしたちも同じです。

なんの希望や目的もなく、罪をかかえて生き  
ていたのに、イエス様にであってすべてが変わ  
りました! よろこびの人生のスタートです!

もしあなたが「ほんとうにあなたなの?」と  
聞かれるほどに変わったなら、「わたしこそ、  
神様のきせきのわざを体験したその人です。

(わたしがそれです)」とこたえたいね。

いの  
祈り

天のお父様、まわりの人もおどろくほど、  
あなたのわざを体験させてください。

## 7月17日（土）

聖書  
聖句

ヨハネ 9・10~11

イエスという方が泥を作って、私  
の目に塗り、『シロアムの池に行つて  
洗いなさい』と言われました。 11節

「今日こそだれかに神様のこと伝えなきゃ」  
と思っても、すごくむずかしく考えちゃって、  
なかなか言い出せない人もいるかな?

でも、神様はふしぎ、だれかに話すチャンス  
をくださるお方です。そのときは、こわがった  
り、話を小さくしたり大きくしたりせず、た  
だ神様があなたになにをしてくれたか、神様に  
出会うってどんなふうに変ったのか、起きたこ  
とを「ありのまま」伝えればいいのです。

その「ありのまま」の信仰を、神様は祝福し  
てくださるよ。

いの  
祈り

天のお父様、むずかしく考  
えるのでは  
なく「ありのまま」を伝えることができ  
ますように。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 10・1～15

良い牧者であるキリスト

わたしは良い牧者です。良い牧者は羊たちのためにいのちを捨てます。

ヨハネ 10・11

私たちのために命を捨ててくださった牧者キリスト信じる。

目標

7月18日(日)

聖書  
聖句

ヨハネ 10・1～15

わたしは良い牧者です。良い牧者は羊たちのためにいのちを捨てます。 11節

本物の羊を見たことありますか？ 羊は目も弱いし、すべてに弱い動物です。牧者がいなければ、すぐにも迷い込んで死ぬか、恐ろしい動物におそわれて死んでしまいます。わたしたち人間も羊のように弱いんですね。わたしたちのための牧者はイエス様です。よい牧者は、羊を守るためには命さえも投げ出すのです。イエス様は、わたしたちが罪を犯し続けて永遠に滅びてしまわないために、身代わりに十字架で死ぬほど愛してくださる牧者です。

祈り 天のお父様、罪深く、迷いやすい羊のようになわたしのために命さえ捨ててくださった牧者イエス様を感謝します。

7月19日(月)

聖書  
聖句

ヨハネ 10・1～3

牧者は自分の羊たちを、それぞれ名を呼んで連れ出します。 3節

今週は、イエス様がどんなに良い牧者なのか、み言葉から見えていきましょう。囲いから外に出られるのは、羊たちにとってうれしいことだったでしょう。牧者は自分の羊の名をよんで連れ出したのですね。「メー太！ メー吉！ メー夫！ メー助！ メー子！」(わあどれもメーだ) 一体どんな名前がつけられていたのでしょうか？ わたしたちも自分の名前が呼ばれることって、何だかとてもうれしいことですね。イエス様はきょうも名を呼んでいてくださいます。

祈り 天のお父様、ひとりひとりの名を知って、きょうも呼んでくださって、一日の歩みに連れ出してください感謝です。

7月20日(火)

聖書  
聖句

ヨハネ 10・4～6

羊たちをみな外に出すと、牧者は先頭に立って行き、羊たちはついて行きます。 4節

「さあ、広い野原にいつてらっしゃーい！」つて、羊を出してしまつて、牧者のおじさんは家でゆっくりするのではありません。サーッと羊たちの先頭に行って、「ついて来るんだよ」と導いてくださるのです。羊たちは、目が弱いし、迷いやすいのですから。わたしたちのためにもイエス様は同じようにしてくださいます。わたしたちにはこの一日、一体どんなことがあるのかわかりません。でもイエス様が、ちゃんと前に行ってくださるので大丈夫！

祈り 天のお父様、一日の始まりに、きょうもイエス様がわたしの先頭に立って行ってくださると知るのはいちに強いです。

## 7月21日（水）

聖書

聖句

ヨハネ 10・7～9

わたしは門です。だれでも、わたしを通して入るなら救われます。また出たり入ったりして、牧草を見つめます。 9節

ここでは、イエス様が「わたしは門です」と言われます。その門は、救いの門ですね。わたしたちを、滅びて行くこの世から救い出し、犯しつづけてきた罪から救い出すことのできるのは、イエス様だけです。イエス様という救いの門をくぐって入ると、全く罪の力から救われ、守られていくのです。イエス様という門をくぐって、出たり入ったりして、わたしたちの成長のために必要なものが豊かに与えられます。牧草、つまりみ言葉を第一に与え、そしてすべてを与えられます。

いの

祈り

天のお父様、救いの門であるイエス様を感謝します。罪を悔い改めて、救いの門に入って豊かな人生を過ごします。

## 7月22日（木）

聖書

聖句

ヨハネ 10・10～11

わたしが来たのは、羊たちがいのちを得るため、それも豊かに得るためです。 10節

コロコロころがれるほど、マルマル太った羊を想像してしまいますか？ テーブルの上にパンキンスープにサラダに生ハム、ポテトにステーキに焼きたてパン、デザートはアイスクリームつきアップルパイ、なんてリッチー！ と思いますね。豊かな命はこれらのものを食べて育てられるだけではありません。何より、清い心と、何にも乱されない心の平安と、まわりの人への優しい思いやりが満ちた命でしょうね。イエス様だけが与えてくださる命です。

いの

祈り

天のお父様、イエス様を信じる時与えられる清い命、豊かな命を心よりありがとうございます。大切にします。

## 7月23日（金）

聖書

聖句

ヨハネ 10・12～15

わたしは良い牧者です。わたしはわたしのものを知っており、わたしのものは、わたしを知っています。 14節

「わたしのこと、もっとよく知ってほしいな」、「ぼくのこともっとよくわかってよ」という気持ちになることがあるでしょう？ お家の人やお友だちだって、いつも一緒にいるのに、なかなかわかってもらえないなあって。でも、よい牧者イエス様は、わたしたち羊のことをとってもらって、わかっていてくださるのです。詩篇139篇を読むとオドロキますよ！ わー、何もかも知られてるんだーって。では、あなたは牧者イエス様をよく知っていますか？

いの

祈り

天のお父様、わたしのことを一番よく知っていてくださるイエス様をくださって、本当に感謝でいっぱいです。

## 7月24日（土）

聖書

聖句

詩篇23・1～6

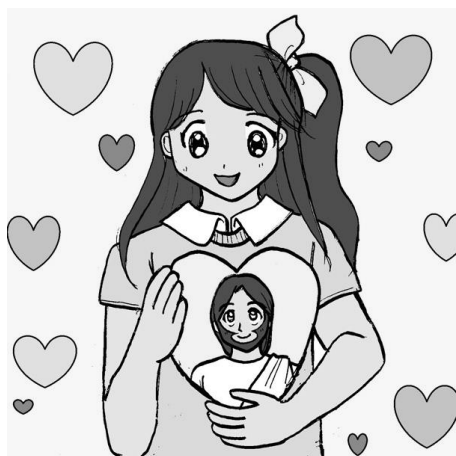
主は私の羊飼い。私は乏しいことがありません。 1節

羊を飼っていた少年ダビデが、大きくなってつくった羊飼いの詩です。ダビデは、自分はちょうど羊のようだな、神様は、ぼくの羊飼いだと、感謝にあふれてつくりました。豊かに養い、育ててくださる羊飼い、たとい恐ろしい死の陰の谷のような中を行く時も、羊飼いな神様が共にいてくださるのでこわくありません。毎日が勝利です。神様の恵みと愛とがずっとわたしを追いかけます。わたしは一生、この羊飼いな神様と共に過ごしますと！

いの

祈り

天のお父様、この豊かな羊飼いの詩を、暗唱できたら本当に素晴らしいです。実行してみたいと思います。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 11・17～27

いのちであるキリスト

わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。

ヨハネ 11・25

目標

永遠の命の与え主キリストを信じ、永遠の命の希望に生きる。

7月25日（日）

聖書  
聖句

ヨハネ 11・25

わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。 25節

「死」について考えたこと、ありますか？  
生きているものにはすべて死ぬときがきます。

「死」がこわくて、ある人はふかく考えないようにし、ある人はなんども生まれかわると言います。でも「あなた」という人はたった一回のチャンスの人生を生きているのです。

イエス様は、「死」が終わりではないことを教え、だれにもにげることができない「死」の問題を解決するために来てくださいました。

そして、永遠の命を持つ者になるように、今日も、あなたをまねいてくださっていますよ。

いの祈り

天のお父様、だれも解決できない死の問題を解決し、永遠の命を持たせてくださることをありがとうございます。

7月26日（月）

聖書  
聖句

ヨハネ 11・17～18

ラザロは墓の中に入れられて、すでに四日たっていた。 17節

ラザロが死んでお墓に入ってから四日。家族の人やまわりの人、きっとあなたも、「さんねん、まにあわなかった。どうしてイエス様は来てくれなかったの？」と思っているよね。

でも、イエス様はそうは思っていないよ。

悲しいことの中でも、イエス様を信じつづける人には、すばらしいことを体験させたいとねがっておられることが、聖書を読むとわかるよ。

そう考えると、意味のないできごと、手おくれなことなんてない、イエス様のなさることはすべて意味がある、と期待して祈れるね！

いの祈り

天のお父様、どんなことにも、イエス様がこたえをくださることを信じます。

7月27日（火）

聖書  
聖句

ヨハネ 11・19

マルタとマリアのところには、兄弟のことで慰めようと、大勢のユダヤ人が来ていた。 19節

「永遠の命」を知らない人にとって「死」はとてもさんこくなものです。かけがえのないものをなくすと、ふかい悲しみがやってきます。なにもかも失ってしまってもうとりもどせないと思ってしまうんだね。そして、どんななぐさめのことばも心にとどかず、かえってつらくなってしまいます。

このときのマリアとマルタもきっとふかい悲しみの中にあっただしょうね。

だからこそ、人には「永遠につづく希望」がぜったい必要なんだね。

いの祈り

天のお父様、わたしにも永遠の希望がぜったい必要です。

## 7月28日（水）

聖書  
聖句

ヨハネ 11・21～22

しかし、あなたが神にお求めになることは何でも、神があなたにお与えになることを、私は今でも知っています。 22節

自分の願いがかなわないとき、つらい目にあったとき、「イエス様があのとき～してくれたら～だったのに」と思うことはありますか？

人の心はぐらぐらとゆれうごくもの。その中で、なにが正しくて、なにを信じればいいのかわからなくなる人もいるよね。

マルタは、深い悲しみの中にはあったけれど、イエス様を心から信じていたんだね。

心がぐらぐらゆれてたおれそうなときこそ、イエス様を信じる信仰からはなれないことがたいせつなんだね！

祈り 天のお父様、心がくじけそうなときこそ、イエス様をつよく信じます。

## 7月29日（木）

聖書  
聖句

ヨハネ 11・23～24

終わりの日のよみがえりの時に、私の兄弟がよみがえることは知っています。 24節

イエス様にラザロのよみがえりのことを教えられても、マルタはよくわかりませんでした。

聖書には終わりの日によみがえることしか書いていなかったからです。

聖書に書いていることを、どんなに信じている人も、その意味がなんであるのか、なにが起きようとしているのか、100%理解できるわけではないよね。

そのひとつひとつを、わからせてくださるのはイエス様。イエス様に「心の目をひらいてください」と近づいていくとき、人の考えをはるかにこえたものが見えてくるよ。

祈り 天のお父様、わたしの心の目を開いて、素晴らしいものを見させてください。

## 7月30日（金）

聖書  
聖句

ヨハネ 11・25～26

わたしはよみがえりです。いのちです。 25節

「永遠の命」ってどんなだろ？ 死んだあと、体からふ～っとぬけだして天国に行く「見えない自分」？ もしそうなら、イエス様が死んだあとよみがえったり、死んだラザロが生きられる必要はないよね？

神様は、イエス様を救い主と信じる人に、死んだ人の体であってもよみがえらせる力があるお方だということを教えてくれたんだね。

死んだあと天国にいくだけの見えない体じゃなく、死に負けない復活の体、イエス様のよみがえりとおなじ体が、あなたにもやくそくされていること、信じますか？

祈り 天のお父様、イエス様の命、イエス様のよみがえりが、わたしにもやくそくされていることを信じます。

## 7月31日（土）

聖書  
聖句

ヨハネ 11・27

はい、主よ。 27節

目の前に大きな悲しみや不安があるとき、つぶやいたり、頭がモヤモヤ、心がどんよりしちゃって、ぜんぜん前に進めそうにない…ってこと、ないですか？

たいせつな家族が亡くなったら、なおのことだね。それでも、イエス様が「私を信じるか？」と語りかけてきたとき、「はい、主よ」と言ったマルタさん。イエス様は救い主、どんなときも、いちばん良い道にみちびいてくださるお方だって信じる人の答えだね。

もし、あなたがモヤモヤやどんよりで前に進めない時は、「はい、主よ」とイエス様にお任せしてください。イエス様が答えをくれるから。

祈り 天のお父様、イエス様が答えをくださることを信じて「はい」と言えますように。





聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 14・1～6  
道であるキリスト  
わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。ヨハネ 14・6

目標

天国への道であるキリストを信じる。

8月1日(日)

聖書  
聖句

ヨハネ 14・6  
わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。 6節

道をまちがえて、ぜんぜん知らないところに  
ついちやったこと、ありませんか？ とちゅう  
まで合っていたはずなのにおかしいな？ ひと  
つまちがただでぜんぜんちがうんだね！

「道路」なら、またもとにもどればやり直せ  
るけど、「天国へ行く道」はまちがえたままで  
いるともどれなくなるんだ。

あなたも、人生の道を歩きはじめているけど、  
どんな道を歩いていますか？

イエス様は、ご自分が「道」だと言われたよ。  
そう、天国へ行くなら、イエス様を信じて心にお  
むかえするほかないってことだね。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様を心から信じて、  
天国の道を歩いていきます。

8月2日(月)

聖書  
聖句

ヨハネ 14・1  
あなたがたは心を騒がせてはなり  
ません。神を信じ、またわたしを信じ  
なさい。 1節

しっばいするかもしれない、たいせつな人を  
傷つけるかもしれない、ひとりぼっちになるか  
もしれない、たよるものがなくなっちゃうかも  
もしれない…。そんな気持ち、お弟子さんだけ  
じゃなく、あなたにもあるんじゃない？

不安でいっぱいのお気持ちを解決する方法、わ  
たしたちはすぐにわすれてしまうけど、そうか、  
イエス様が言われたことを思い出さなきゃい  
けないね。わたしにはいつもイエス様がいつ  
しよにいてくださるんだね！ 神様が見ていて  
くださるんだね！

いの  
祈り

天のお父様、いつもかわらずわたしと  
いっしょにいて、守ってください、あり  
がとうございます。

8月3日(火)

聖書  
聖句

ヨハネ 14・2  
わたしの父の家には住む所がたくさん  
あります。 2節

今、どこにいても、なんだか「居場所」がな  
いと感じる人が、とてもたくさんいるみたい。  
つらいことや悲しいこと、問題が多すぎて  
心や体がつかれちゃうんだね。

イエス様は、悲しみのなみだも、心の傷も  
ない、みんなが安心して「ああ、ここがわたし  
の居場所だ」と言えるところを用意してくだ  
さったお方。それも「たくさん」！

だから、どんなことがあっても、「わたしに  
も天に居場所がある」と思うと、希望がもてる  
んだね。安心できるんだね。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様が、わたしのた  
めにも、天に「居場所」を用意してくださ  
ったことを、ありがとうございます。

## 8月4日（水）



ヨハネ 14・3

わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。 3節

イエス様のやくそくは、わたしたちが思うよりもずっとずっと大きいって知ってる？

イエス様を信じる人の心の中に、イエス様がいてくださることは知っているけど、それでわかりじゃないんだって。

やがて、本当にイエス様といっしょに、それも永遠にイエス様といっしょにいる日がくるんだって！

神様の子どもになるってすごいことだね！もっとたくさんの人と、この永遠のよるこびを分けあっていきたいね！たいせつな人のためにお祈りしていきたいね！

いの  
祈り

天のお父様、イエス様のところで、たくさんの人といっしょにすごせるように、お祈りしていきます。

## 8月5日（木）



ヨハネ 14・4

わたしがどこに行くのか、その道もあなたがたは知っています。 4節

イエス様は、わたしたちが天国へ行くために、たったひとりで「道」を行かれました。

むちをうたれ、つばをはきかけられ、苦しめられて、とうとう十字架で血を流して死ぬという「道」、それは、わたしたちが罪のためにうけなければいけなかった罰を、代わりにうけてくださる、という「道」でした。

イエス様を信じる人は、「十字架の道」、「罪の罰の道」を歩かなくてもいいんだね、もうイエス様によって罰は終わっているんだね。イエス様が、天国へのかけはしになってくださったんだね。イエス様、ありがとう！

いの  
祈り

天のお父様、イエス様が歩いてくださった道によって、天国への道がひらかれていることを感謝します。

## 8月6日（金）



ヨハネ 14・5

主よ、どこへ行かれるのか、私たちには分かりません。 5節

「わからない！ 見なきゃ信じない！」なんでも自分でたしかめないと気がすまない性格のトマスさんタイプの人、いっぱいいるよね？

聞いただけで信じられるほど、人はすなおじゃないよね。だからこそ、イエス様はトマスにもしんけんに向き合って、どういうことなのか頭だけでなく、心からわかるようにしてくださったのです。

イエス様は、あなたにちゃんと向き合ってくださいね。だからあなたも、イエス様にちゃんと向き合う必要があるんだね！

いの  
祈り

天のお父様、心からイエス様をわかるように、わたしもちゃんと向き合います！

## 8月7日（土）



ヨハネ 14・6

わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。 6節

だれもがみんな、天国に行きたいと思うはず。でも、多くの中は、天国行きの道を見つけようとも、歩こうともしないんだね。

天国行きの道を歩いている、と思っている人も、「そうじゃないよ」「それってどうなの？」と思うような道を歩いていることもあるよね。人生の「道」でまようとき、こまったとき、どうしたらいい？

それは、聖書になんて書いてあるか、イエス様がどう歩いたか、イエス様ならどうするかを見つけたことだね！ イエス様という道（生き方）の上を歩いていくことだね！

いの  
祈り

天のお父様、イエス様の道を、まっすぐ歩ませてください。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 15・1～8  
ぶどうの木であるキリスト  
わたしはぶどうの木、あなたが  
たは枝です。 ヨハネ 15・5

目標

キリストにつながり、実を豊かに結ぶ者となる。

## 8月8日（日）

聖書  
聖句

ヨハネ 15・5

わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。 5節

「木はその実を見て知る」という言葉があります。ぶどうの実にはぶどうの木から、というくらいならわかるよね。でも、もんだいなのは、その実が「おいしいか、まずいか」だね。良い木からしか、良い実はないってことだね。

じつは人にも「実」があつて、その実がどんなものか、神様は見ておられるんだって。つまり、あなたがいつもしている行いや思いや考え方が、そっくりそのまま「あなた」という「実」なのです。

聖書の中から「自分の実はどうなるだろう？」と考えてみてください。

祈り

天のお父様、自分の実から、自分がどういふ姿であるか知らせてください。

## 8月9日（月）

聖書  
聖句

ヨハネ 15・1～2

実を結ぶものはすべて、もっと多く  
実を結ぶように、刈り込みをなさ  
います。 2節

実のなる植物を育てるとき、どの枝ものばして、なるべくたくさん実がなれば、と思うよね？ でも、そうすると一つ一つの実に栄養がいかず、おいしくなくなっちゃうんだ。だから、もったいなくても、たくさん枝をおとすんだよ。そうすると、実にたくさんの栄養があつまって、やがて良い、おいしい実になるよ。

神様は、「良い実」になるよう、あなたにも毎日かかさず手入れなさるお方です。バサッと枝を切られると「痛い」はずだけど、そうしながら成長していくんだね。

祈り

天のお父様、わたしが良い実をつけるために、手入れしてくださっていることを感謝します。

## 8月10日（火）

聖書  
聖句

ヨハネ 15・3

あなたがたは、わたしがあなたがたに話したことばによって、すでにきよいのです。 3節

イエス様の言葉を、「信じます」と心から受け入れた人たちに、イエス様は「もうきよい」と言ってくくださるお方です。

「ほんとうにわたしは救われたの？ 赦されていないんじゃないの？ 天国にいけないんじゃないの？」と不安になっちゃうのは、わたしたちの弱さだね。

イエス様を信じたのに、罪が赦されなかったってことはありえない、ってことだね。

あなたもイエス様のお言葉によって、きよくされました。これを100%信じますか？

祈り

天のお父様、イエス様によって、罪が赦され、もうきよくされたことを100%信じます。

## 8月11日（水）

聖書  
聖句

ヨハネ 15・4～6

あなたがたもわたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。  
4節

どんなに元気な枝でも、パチンと切り落とされたら枯れてしまうよね。それと同じで、せっかくイエス様を信じて新しい命をもらっても、イエス様につながりつづけていなければ、切り落とされた枝のようになってっちゃうんだね。

人の心の中に、イエス様のように人と神様とを愛する愛はないよね。よ～し！ 今日こそ！ とひとりでがんばっても、あつというまにしっぱいしちゃうね。「愛の実」を実らせるのってむずかしい！ イエス様も、そんなわたしたちのことをよく知っておられるんだね。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様につながって、「愛の実」を結ぶことができますように。

## 8月12日（木）

聖書  
聖句

ヨハネ 15・5

わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。  
5節

「あなたの行いや思いや考え方が、そっくりそのままあなたという実」だと前に言ったけど、イエス様という木につながったあなたは、ぶどうの木からぶどうの実がなるように「イエス様の実」をつけるはず、ということだね。

枝が幹から栄養をたくさんもらって良い実をつけるように、イエス様から毎日たくさんの栄養（愛やみことば）をもらってください。

人を愛せないとき、赦せないときほど、イエス様がどう言われ、何をしてくださったか思いだしてください。とことん、イエス様にしがってみてください！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様が言われたこと、なさったことを行えるよう、イエス様の愛で心をいっぱいにしてください。

## 8月13日（金）

聖書  
聖句

ヨハネ 15・7

わたしのことばがあなたがたにとどまっているなら、何でも欲しいものを求めなさい。  
7節

世の中には、「わたしこそ木だよ」「わたしにつながればまちがいないよ！」というものがたくさんあります。「お金の木」「勉強の木」「恋の木」…あげればきりがありません。でも、それらの「木」につながっても、ざんねん、人生が終わればなくなるし、心はどんどん自分勝手に、わがままに疲れてしまうんじゃないかな。

たいせつなのは、まず、イエス様につながるということ、イエス様にしがたうということ。

そうすれば、あなたの人生で必要なものはかならず与えられるからね！ だいじょうぶ！

いのちの祈り 天のお父様、なによりもまず、イエス様につながる枝でいられますように！

## 8月14日（土）

聖書  
聖句

ヨハネ 15・8

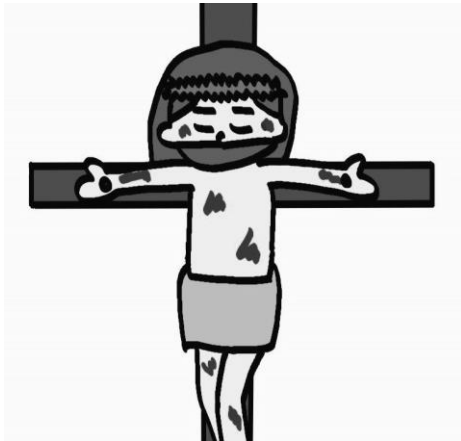
わたしの弟子となることによって、わたしの父は栄光をお受けになります。  
8節

世界にすばらしいものはたくさんあるけど、いちばんほめられ、尊敬されるはずの神様を、大切にしている人はどれくらいいるだろう？

じつは神様が栄光をうけるって、そういうことだよ。神様を信じているあなたが、イエス様のような「愛」の人になったのを見て、まわりの人もあなたも、「神様ってすばらしい！」とほめるようになることが必要なんだね！

「神様がわたしをこんなふうに変えてくれた！ 成長させてくれた！」ということを感じながら、毎日すごしていけますように！

いのちの祈り 天のお父様、あなたのすばらしさが、たくさんの人にわかるように、わたしを成長させてください。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

出エジプト 12・1～14

過ぎ越し

わたしはその血を見て、あなたがたのところを過ぎ越す。

出エジプト 12・13

目標

キリストの血により罪赦されて、さばきから守られる者となる。

8月15日（日）

聖書  
聖句

出エジプト 12・13

わたしはその血を見て、あなたがたのところを過ぎ越す。 13節

イスラエルの人々を救うため、神様はエジプトに九つの災いを起こしました。でもエジプトの王様はイスラエル人を去らせてくれません。とうとう、神様は十番目の災いに、エジプト中の家で、初めて生まれた男の子は、人も家畜も滅ぼすと決めました。

じゃあ、エジプトに住んでいる、神様を信じているイスラエル人は？ 人々が家の二本の門柱とかもいに羊の血をぬると、神様がその血のしるしを見て、その家で初めての男の子であっても滅ぼさない、という方法を特別に用意なさったのです！

祈り

天のお父様、あなたを信じる人に救いの方法を用意して下さい感謝します。

8月16日（月）

聖書  
聖句

出エジプト 12・1～2

この月をあなたがたの月の始まりとし、これをあなたがたの年の最初の月とせよ。 2節

イスラエル人がエジプトを出る日が来ました！ 神様は、この月をイスラエル人の「歴史が変わる日」「新しいスタートの日」と決められました。奴隷にされていたエジプト、たくさんの偶像が拝まれていたエジプトをぬけだし、本当の神様に従って歩き始める、新しい人生が来るのです！

あなたも、今までの古い生き方を変え、罪からぬけ出そう！ そして、イエス様を信じて心におむかえし、新しい命をいただいて、神様に従う素晴らしいスタートをしよう！

祈り

天のお父さま、今までの自分の生き方からぬけ出して、イエス様を信じ、新しいスタートをします。

8月17日（火）

聖書  
聖句

出エジプト 12・3～5

あなたがたの羊は、傷のない一歳の雄でなければならない。 5節

どうしてイスラエルの人が羊の血を柱とかもいにぬって救われたかわかりますか？

それは、まだ罪を知らない羊の血が、イスラエルの人々の罪の身代わりに死んだことを知らせてくれたからなんです。

罪のない羊が死んだから、その家に住んでいる人はもう神様に赦され、罰を受けなくてよい、ということなんだね。

十字架で血を流されたイエス様を見て！ あなたの罪の身代わりに、あなたがもう罰を受けなくてよくなるために、血を流して死んでくださった罪のない羊、それがイエス様なんだよ！

祈り

天のお父様、わたしの代わりに血を流されたイエス様をありがとうございます。

## 8月18日（水）



出エジプト 12・6~7

その血を取り、羊を食べる家々の  
二本の門柱と鴨居に塗らなければ  
ならない。 7節

神様は、イスラエルの人々を救うために一  
つの方法を用意されました。もし、イスラエル  
人が神様の方法に従わなかったら？ そう、  
従った人だけが救われる、というのが神様の  
約束だったの。

神様は、わたしたちを愛し、だれも滅んでほ  
しくないと思っておられます。そして、イエス  
様という、たった一つの救いの方法を用意され  
ました。救われるためには、わたしたちの罪の  
身代わりに死なれたイエス様の十字架の血を  
信じること。方法はただ一つなんです！

**祈り** 天のお父様、イエス様の十字架だけがわ  
たしを救うたった一つの方法であるこ  
とを信じます。

## 8月19日（木）



出エジプト 12・8~10

その夜、その肉を食べる。それを火  
で焼いて、種なしパンと苦菜を添え  
て食べなければならない。 8節

あなたは、教会に行き、聖書のお話を聞き、  
イエス様があなたの罪の身代わりに十字架に  
かかって死んだことを聞いているでしょう？

でも、耳で聞いて、頭ではわかっているけど、  
心の中にイエス様を受け入れたでしょうか？

聞くよりもっと大事なことは、受け入れるこ  
と！ 受け入れるとき、イエス様の命があなた  
を造り変え、生かしてくれるのです！

食べることは受け入れること、受け入れる  
ことは信じることなんです！

心にイエス様を受け入れたいね！

**祈り** 天のお父様、わたしもイエス様の命を  
受け入れて、生きていきます。

## 8月20日（金）



出エジプト 12・8 ~10

朝まで残ったものは燃やさなけれ  
ばならない。 10節

あなたは、お友達の手代わりになって大人の  
人から罰を受けたことがありますか？

罰って燃える炎のように怖いものです！

でも、手代わりの羊が焼き尽くされたみた  
いに、罪を背負い、あなたのために、とことん  
罰を受けて下さったお方を思い出して！

十字架にかかる、ということは重い罪のある  
人が死ぬための罰です。でも、イエス様は神様  
のひとり子で、罪がないのに、自分の命を捨て  
てまで、あなたの罪を背負って、あなたがかか  
るはずの十字架に、代わりにかけられたんです  
よ！ だからあなたが赦されるのです！

**祈り** 天のお父様、命を投げ出して、わたし  
の代わりにとことん罰を受けられたイ  
エス様の十字架を感謝します。

## 8月21日（土）



出エジプト 12・13

その血は、あなたがたがいる家の上  
で、あなたがたのためにしるしとな  
る。わたしはその血を見て、あなた  
がたのところを過ぎ越す。 13節

罪がある人となない人、どうすればわかります  
か？ また、どうすれば天国に行けますか？  
いい子だから？ 家族がクリスチャンだから？  
あなたが教会に行っているから？

それは、私たちが決めるのではなく、神様だ  
けが決めること。子羊の血のしるしを見て、  
神様が過ぎ越されたように、あなたの心の中  
に、十字架で死なれたイエス様の血のしるし  
があるかどうかを、神様は見つめて、決めるん  
です。十字架は、救いの完全な約束だよ！ 信じよう！

**祈り** 天のお父様、わたしもイエス様の十字架  
を信じます。そして、救いの約束をいた  
だいて生きていきます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

出エジプト 14・10～27

海を渡る

しっかり立って、今日あなたが  
たのために 行われる 主の救いを  
見なさい。 出エジプト 14・13

目標

難しい状況の中でも助けてく  
ださる神に信頼する。

8月22日（日）

聖書  
聖句

出エジプト 14・13

しっかり立って、今日あなたがたの  
ために 行われる 主の救いを見なさい。  
13節

わたしたちは生活の中で、いつも何かを信じて  
生きているよね？ たとえば、ごはんやおや  
つを食べるときも、それが食べ物で、食べてよ  
いものだと信じているから口に入れられるん  
でしょう？ ぎゃくに、信じていなかったら食  
べることなんてできないもんね！「信じる」っ  
てことはつまり、行動につながっているんだよ。

神様はね、「信じてよーく見なさい！」と言っ  
ておられるね。あ、そうだ。わたしたちは神様  
を信じていたはずなのに、なんにも行動でき  
ていなかったね。神様のなさることを自分の目  
でしっかり見なきゃ！

祈り

天のお父様、信じることは行動につな  
がると教えてくださって感謝します。

8月23日（月）

聖書  
聖句

出エジプト 14・10～12

この荒野で死ぬよりは、エジプトに  
仕えるほうがよかったのだ。 12節

こわい！ どうしよう！ と思うとき、だれで  
も「やっぱり前のほうがよかったのに！」と  
文句を言ってしまうものです。

イスラエルの人も「奴隷だったエジプトでの  
生活のほうがまだマシだった！」だって。

でもそうかな？ 神様がイスラエルの人を救  
うためにされたたくさんの奇跡を、エジプトで  
も見てきたはずなのにね。

それって、ちっとも神様を信じられてないの  
といっしょじゃない！？

祈り

天のお父様、あなたがしてくださったこ  
とをたくさん見たのに、つぶやいてしま  
う弱いわたしたちです。もっと信じられ  
ますように。

8月24日（火）

聖書  
聖句

出エジプト 14・13～14

主があなただのために 戦われる  
のだ。あなたがたは、ただ黙ってい  
なさい。 14節

自分にかかることは自分だけのこと。だから  
自分が危なくなったら大パニック！ そんな  
気持ちもわかるよ！ でも神様にとってはそう  
じゃないんだって。

一人一人の人生は、神様の計画された、神様  
のもの。あなたがどんなにいやだと思っても  
起きたとしても、神様はそのまま放ってはおか  
れないで、その中で、どんなに神様がすごい  
かを見せたいと思っておられるんだ。

そう、神様はわたしの人生で、わたしのた  
めに戦ってくださるお方だったね！

祈り

天のお父様、わたしのために戦って  
くださることを感謝します！

## 8月25日（水）

聖書  
聖句

出エジプト 14・15～18

なぜ、あなたはわたしに向かって叫ぶのか。イスラエルの子らに、前進するように言え。 15節

神様は、わたしのために戦われるって、昨日聞いたけど、それは、人がなにもしないでぼーっとしてていいって意味じゃないんだ。

それには、わたしたちが「はい！」と言って神様が言われたことを「やってみる」っていう気持ちが必要なんだよ。

わたしたちが神様の言っておられることに従ってみるときに、神様の計画しておられたことがドカーン！と目の前で起き始めるよ。

さあ、あなたの人生にはどんなことが起きるかな！！

いの  
祈り

天のお父様、あなたがわたしに語られることを「はい！」と言ってすることができまうように。

## 8月26日（木）

聖書  
聖句

出エジプト 14・19～22

モーセが手を海に向けて伸ばすと、主は一晚中、強い東風で海を押し戻し、海を乾いた地とされた。水は分かれた。 21節

もしモーセが、神様の言うことを信じず、聞かず、いっしょにいるイスラエル人とぶつぶつ文句を言い、海に向かって手をさし伸べなかったら？…考えただけでおそろしい！

神様の計画はいつもわたしたちには見えづらく、わかりにくいよね。だけど、聞いて従うことなしには始まらないんだ。

たった一人でも聞いて従ったら、自分だけでなく、自分のまわりの人のためにも、神様は助ける方法を用意してくれるでしょ！

いの  
祈り

天のお父様、だれかが聞き従わない時も、信じて従う心を持って生きることができまうように。

## 8月27日（金）

聖書  
聖句

出エジプト 14・23～25

イスラエルの前から逃げよう。主が彼らのためにエジプトと戦っているのだ。 25節

どう見たってぜったい強くてこわいエジプトの軍隊と、どう見たって弱くて何も持っていないイスラエルの人たち。でもね、イスラエルの人たちといっしょに神様がいらっしゃるって知ったとたん、エジプトの軍隊だって「逃げなきゃ！」と思ったのです。

どんなこわい人がやってきたって、あなたといっしょに神様がいらっしゃるなら、なにもこわいことなんてないって、わかるでしょ！

いの  
祈り

天のお父様、あなたがいっしょにいてくださるから、どんな人も、どんなことも、こわがりません！

## 8月28日（土）

聖書  
聖句

出エジプト 14・26～27

主はエジプト人を海のただ中に投げ込まれた。 27節

海が真っ二つになって海をわたった話なんて、聖書の作り話だよ！という人がいます。

でもね、聖書のお話をもとにして、証拠を探したら、アカバ湾のヌウエイバビーチという場所の海の底から、沈んだエジプトの戦車の車輪がたくさん発見されたなど、たくさんの証拠があるのです。

そう、聖書のお話はぜんぶ神様が、歴史のなかに関わってくださった本当の物語なのです。

その神様はあなたの人生にも、今もかかわってくださっています。

いの  
祈り

天のお父様、聖書のお話は歴史の事実であることを教えてくださって感謝します。





聖書  
テーマ  
暗唱聖句

出エジプト 16・31～36

マナ

イスラエルの子らは、人が住んでいる土地に来るまで、四十年の間マナを食べた。

目標

出エジプト 16・35  
神による養いと守りがあることに信頼して生きる。

8月29日（日）

聖書  
聖句

出エジプト 16・35

イスラエルの子らは、人が住んでいる土地に来るまで、四十年の間マナを食べた。 35節

エジプトを出たイスラエル。お店もお水もなにもない、カラカラの砂漠でなんと四十年も生活したんだって！ のどはかわくしおなかもすいて、おまけにへとへと。でも、神様はその間もずっとイスラエルの人たちに一日一日、必要なものを与えつけてくださったよ。そのことで、イスラエルの人にはだれかや何かにたよるのではなく、ただ神様にたよればよいということを手伝っていただきました。

あなたも、くるしいとき、つらいとき、大変なとき、どんなときも、必要なものをくださる神様にたよってね！

祈り

天のお父様、必要なものをくださるあなたにだけたよります。

8月30日（月）

聖書  
聖句

出エジプト 16・31

イスラエルの家は、それをマナと名づけた。 31節

「あのときはよかったのに…」なんて今と前のことをくらべてはブツブツ。一人でつぶやいているようでも神様は聞いているってこと、知っているかな？

イスラエルの人、まだ、神様にどうやってたよったらいいかを知らない人たちがいました。

マナとは「なにこれ？」って意味。神様は、つぶやいてばかりの人たちにも「神様だけの方法」でこたえて、天からとてもふしぎな食べ物プレゼントしてくれたんだ。

神様はあなたにも、神様だけのふしぎな方法でこたえてくださることをわすれないでね。

祈り

天のお父様、わたしにもふしぎな方法でこたえてくださることをありがとうございます。

8月31日（火）

聖書  
聖句

出エジプト 16・31

それはコエンドロの種のように、白く、その味は蜜を入れた薄焼きパンのようであった。 31節

マナは、パンのようなもので白く、蜜を入れたおせんべいのような味だったんだって。

神様は毎朝ごとにマナをふらせてくれたんだけど、神様のルールがあつてね。イスラエルの人たちがそのルールに従うかどうか、見ておられたよ。

神様は、神様が与えるものだけで人が生きること、人が神様にだけたよって生きること、一日一日わすれずに神様が助けてくださることをイスラエルの人に知らせたかったんだ。もちろん、わたしたち一人一人にもね。

祈り

天のお父様、あなたがわたしに教えようとしていることを、わたしがしっかり知ることができるよう。

## 9月1日（水）



出エジプト 16・32

それを一オメル分、あなたがたの子孫のために保存しなさい。 32節

マナはとてもふしぎな食べ物でした。毎朝、自分が食べられる分だけを集めて食べると、のこりは虫がついてくさくなったり、とけたりしました。そして、七日目が神様の安息日なので、六日目だけは二日分集められたのです。

でも、神様は砂漠にいる人たちの体の心配だけでなく、その後の人たちの心の心配もしていました。神様がイスラエルの人たちにされたことを、目で見て知ることができるようにしてくださったのです。この、子孫のためのマナだけはくさらずに残すことができました。

**いのり** 天のお父様、体のことだけでなく、見ないと信じられない人の心のことも心配してくださりありがとうございます。

## 9月2日（木）



出エジプト 16・33

壺一つ持って来て、マナを一オメル分その中に入れ、それを主の前に置いて、あなたがたの子孫のために保存しなさい。 33節

くさらないマナは、神様がくれたたくさんの恵みのしょうこ。モーセは、神様が命じたとおりにつぼの中にマナを入れて残しました。

あなたにも、神様はたくさんのことをしてくれているけれど、それをちゃんと心のつぼに入れて残しているかな？ あなたの心にある、たくさんの神様からのおくりものを、あなたもしっかりとたくわえてくださいね！ そして、神様を知らないといけないくさんの人に伝えられますように！

**いのり** 天のお父様、心のつぼにあなたの恵みをいっぱいたくわえます。だれかのためにやくだちますように。

## 9月3日（金）



出エジプト 16・34

アロンはそれを保存するために、さとしの板の前に置いた。 34節

アロンって人が出てきたね。アロンはモーセのお兄さん。モーセが、イスラエルの人たちのリーダーになって、神様が言われるところに行きなさいと言われたとき、モーセは「そんなことできない！！」と思っていました。そこで、モーセが神様のために働けるように、アロンをいっしょに行かせてくれたんだね。

アロンは、モーセの「できない！」と思うところをしてくれるなかまでした。

あなたも、神様のためにはたらくときには、ちゃんとアロンのような人が与えられるよ。

**いのり** 天のお父様、一人じゃあなたのために何にもできないですが、アロンのような助けも与えてくださることは感謝です。

## 9月4日（土）



ヨハネ 6・30～35

わたしがいのちのパンです。 35節

イスラエルの人たちが食べたマナは、食べたらなくなり、またおなががすいてしまうものでした。それが四十年つづいただけでもびっくりだけど、人の心はまんぞくできないんだ。

でもね、神様があなたにしてくれた、さいこうでさいだいのできごとを思い出して！

イエス様が命のパンだということ。それは、イエス様があなたのために十字架で自分の体をひきさいて、血を流してくれたことを、心の中にもいただくことだよ。そのときに、あなたには永遠の命、本物の命がもらえるんだね。そして、それは消えてなくなるものではなく、ずっと続いていくものだね。

**いのり** 天のお父様、あなたがわたしにしてくださった一番のこと、それはイエス様をくださったことです。ありがとうございます！

リーダー



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

出エジプト 17・8～16

祈りの手

モーセが手を高く上げているときは、イスラエルが優勢になり、手を下ろすとアマレクが優勢になった。出エジプト 17・11  
祈りの重要性を知り、心を合わせて祈る者となる。

目標

9月5日（日）

聖書  
聖句

出エジプト 17・11

モーセが手を高く上げているときは、イスラエルが優勢になり、手を下ろすとアマレクが優勢になった。

11節

「わたしってなんの力もないな～」「だれのおかげにも立たないな～」なんて思っている人、いませんか？ でもね、おじいちゃんになったモーセの、このすがたを見て！

だれかがたいへんな思いをしているとき、モーセのようにお祈りの武器でたたかうことができるって、小さいことではありません。いえ、お祈りこそ、あなたにとってさいだいの力になるってことを知ってくださいね。

神様を信じてお祈りする人に、神様はかならずこたえて勝利をくださるよ！

いの祈り

天のお父様、お祈りはわたしの力になることを信じます。

9月6日（月）

聖書  
聖句

出エジプト 17・8

アマレクが来て、レフィディムでイスラエルと戦った。8節

イスラエルの人たちは、カラカラの砂漠での毎日。それだけでもたいへんなのにアマレク人という、戦うことが大好きな人たちに攻められてしまい、戦わなければ生きられません！

あなたのまわりにも、神様を信じていることをじゃまし、こうげきしてくるものはある？

でもね、神様を選んだ人たち、神様を信じる人たちをこうげきしてくることは、神様にむかってこうげきするのといっしょなのです。

神様をおそれないことはこわいことです。だって神様は、だまって見てはいないから！

いの祈り

天のお父様、あなたを信じる人をこうげきしてくるものは昔も今もありますが、あなたが見ておられるのですね！ どうかお守りください。

9月7日（火）

聖書  
聖句

出エジプト 17・9～10

ヨシュアはモーセが言ったとおりにして、アマレクと戦った。10節

ヨシュアは、モーセのあとでイスラエルのリーダーになる人でした。モーセは、イスラエルを守るために、ヨシュアに人を選ばせて、アマレク人と戦いなさいと言いました。

ただでさえ、砂漠の生活で、体も心もヘトヘトだし、おまけに戦うくんれんもしたことはありません。それに、アマレク人は戦争が大好きで武器もたくさんあって強かったのですから、ヨシュアはきっと戦うことはこわかったと思います。でも、ヨシュアは神様とモーセの言うことにすぐに従ったのです！

すごい勇氣！

いの祈り

天のお父様、どんなにこわくても、立ち向かわないといけないとき、勇氣をだしてあなたに従えますように！

## 9月8日（水）

聖書  
聖句

出エジプト 17・12

一人はこちらから、一人はあちらから、モーセの手を支えた。それで彼の両手は日が沈むまで、しっかり上げられていた。 12節

モーセがお祈りしている間、モーセのそばで手がさがらないようにささえてくれる人がいました。モーセの手がさがると、イスラエルはアマレク人に負けてしまうからでした。

どんなお祈りの戦士も、心と体がつかれて一人ではどうしようもなくなるときがあります。でも、いっしょにお祈りしてくれるなかま、いっしょに神様のためにはたらいてくれるなかまがいるなら、どんなにか助けになるでしょうね！ あなたもそんな人を見つけてね！

いの  
祈り

天のお父様、いっしょにお祈りし合えるなかまとあなたのためにはたらいていきますように。

## 9月9日（木）

聖書  
聖句

出エジプト 17・13

ヨシュアは、アマレクとその民を剣の刃で打ち破った。 13節

ついに、イスラエルはアマレクに勝ちました！ ヨシュアやイスラエルの戦士が強かったから勝てたんだっけ？ ちがうよね！

ヨシュアのすなおに従う心、イスラエルのために命をかけて戦ったこと、そして、モーセがお祈りしつづけてくれていたことが、勝利のポイントだね！ 神様はちゃんと見ておられ、人の考えを超えた力をくださったね。

今日も、あなたの見えないところで、あなたのためにお祈りがささげられ、神様が助けてくださっていることをおぼえてくださいね！

いの  
祈り

天のお父様、いつもだれかのお祈りがわたしのためにあること、あなたが助けていてくださることを忘れませんように。わたしもだれかのためにお祈りします。

## 9月10日（金）

聖書  
聖句

出エジプト 17・14

わたしはアマレクの記憶を天の下から完全に消し去る。 14節

神様は、このできごとを書物に書いてのこし、次のイスラエルのリーダーになるヨシュアに伝えるようにと、モーセに命じました。

アマレクとの戦いは、これで終わったわけではなくて、これからもつづいていくものでした。そして、これからもたいへんな思いをするかもしれません。でも、神様は、アマレクとの戦いがかならず終わる日が来ること、完全に勝利できることを知らせたかったんだね。

神様がかならずそうしてくださる日がくる！ と分かっているなら、あきらめず祈りつづけ、立ち向かいつづけられるんだね！

いの  
祈り

天のお父様、あなたの約束があるので、わたしもあきらめず祈っていきます。

## 9月11日（土）

聖書  
聖句

出エジプト 17・15～16

モーセは祭壇を築き、それをアドナイ・ニシと呼び、そして言った。「主の御座の上にある手。 15～16節

あなたは、神様があなたにしてくださった一つ一つのことで、どれくらい思い出せるかな？

自分の力でしてきた！ とかんちがいしやすいわたしたちだけど、本当は、神様があなたのために戦ってくださっているんだ。

きっとこれからも、神様はあなたを助け、守り、救い出してくださるよ。そのとき、そのことを「あ～よかったな」だけで終わらせるのではなく、「あのとき、神様がこうしてくださった！」という感謝のしるしを、心のページーページにつけていってください。モーセが記念の祭壇を立てたようにね。

いの  
祈り

天のお父様、わたしも心に一つ一つ、あなたへの感謝のしるしをつけます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

出エジプト 20・1~17

十戒

あなたには、わたし以外に、ほかの神があつてはならない。

出エジプト 20・3

目標

神のみ心を知り、そのみ心に従う。

9月12日(日)

聖書  
聖句

出エジプト 20・3

あなたには、わたし以外に、ほかの神があつてはならない。 3節

日本にはかぞえきれないほどの神々がいるって、聞いたことがありますか？

お金もうけの神様、恋愛の神様、勉強の神様、中にはキツネやへびまでが神様だったり…。

でも、神様ってそれっぽっちのものなの？ 人がつくったものが神様なの？

いいえ。この世界を造り、あなたを造り、あなたの罪の代わりにイエス様の命まで与えるほどあなたを愛し、とうとう永遠の命までくださった、なんでもできるお方が神様だよ！

だから、この神様だけを信じて生きていくんだよ！

いの祈り

天のお父様、あなただけが、ただ一人の、本当の神様です！

9月13日(月)

聖書  
聖句

出エジプト 20・4~6

あなたは自分のために偶像を造ってはならない。 4節

「わたしは本当の神様を信じているからほかの神様は信じてないよ」と思っている人の心の中にも、じつはほかの神様がいるなんてこと、あるんだよ。その、ほかの神様というのはね、自分が一番たいせつにしているもの。

「神様が言われることよりも、家族や友達の言うことのほうがたいせつ」「本当に信じられるのはお金だけ」「仕事だけが生きがい」など。生きているからたいせつにしたいものはきっとたくさんあるけれど、本当にたいせつな神様をわすれてしまっていないですか？

まず一番に神様を信じて従う人に、祝福がたくさんあるんだよ。

いの祈り

天のお父様、何を信じるよりもまず、あなたを信じ、たいせつにします。

9月14日(火)

聖書  
聖句

出エジプト 20・7

あなたは、あなたの神、主の名をみだりに口にしてはならない。 7節

自分に与えられたものを、まちがったことに使ってしまうことを、みだりに使うと言います。

たとえば、おまわりさんが、なんにもしていない人を、自分がいい成績をとるためだけに逮捕していたら、たいへんなことだよ！？

神様のこどもでもある、ということはすばらしいことなんだけど、神様の力を「なんでもかなえてくれるドラえもん」のような、道具にしているといけない！と聖書は教えてくれているよ。

それはつまり、神様とあなたの関係は正しいですか？ ということなんじゃないかな？

いの祈り

天のお父様、あなたを正しく信じ、従っていきますように。

## 9月15日（水）



出エジプト 20・8~11  
安息日を見て、これを聖なるものとせよ。 8節

たんじょう日など、自分のきねん日を見てもらうってすごうれいね！ 神様にも、覚えてほしいたいせつな日があるって知ってる？

ふだん、勉強や、遊びや、色んなことで神様をわすれてしまうわたしたちだけど、そうだ！ 日曜日は神様の日！ 神様のために時間をあけて、神様に向かってみんな「ありがとう！」と感謝し、礼拝し、お祈りする日だったね！

だって、神様がわたしたちを造ってくださったんだもの。世界のすべての人と一しょにこの日をよろこぼうよ！

いの祈り 天のお父様、この日を世界の人々と覚えて、感謝しながらすごせますように。

## 9月16日（木）



出エジプト 20・12  
あなたの父と母を敬え。 12節

「おぎゃあ」と生まれてきて、はじめて会う人、それはお母さんとお父さん。だからあなたの人間関係はお父さんとお母さんから始まっているよね。

神様が両親に、子どもを正しく育てる責任を与えたように、あなたにも責任があるよ、と聖書は教えています。

それは、あなたを生んでくれた両親を大切にしながら生きていくということ。親だって、人間だから、いいところもあるけれど、こんなわたしたちを愛してくださる神様を信じているから、わたしたちも愛するということを知り、だれかを大切にできるんだね！

いの祈り 天のお父様、あなたがわたしを愛してくださるので、わたしも両親を愛し、たいせつにできます。

## 9月17日（金）



出エジプト 20・13~16  
殺してはならない。 13節

殺したり盗んだりうそをつく…してはいけないなんてあたりまえじゃん！ と思うよね！

「あの子なんかいなくなっちゃえ」「あの子のあれがわたしのものだったらいいのに」「だれも見えていないから」…心をのぞくとこんなことはありますか？

イエス様はね、「心の中でも罪をおかさないように」といったよ。聖い、人の心を見られる神様の前では、心の罪も本当の犯罪も同じ。

神様に罪を「ごめんなさい」とおわびしたわたしたちだから、心の中の罪一つも、見のがしてはいけないんだね！

いの祈り 天のお父様、あたりまえのことではなく、心の中であっても、罪をおかさないように守ってください。

## 9月18日（土）



出エジプト 20・17  
あなたの隣人の家を欲してはならない。 17節

ほかの人を見て、それを自分が持っていないと感じると、それを持っていなくちゃいけないような気持ちになる…それが人間です。

でも、本当にそれは必要なのかな？

神様は、あなたをとくべつに造り、あなたにしかないもの、もう与えていくくださるんだよ。

どうか、一つずつ、神様があなたにくれたものを思い出して下さい。そして、神様から与えられたものでじゅうぶんに満足できるあなたでいてくださいね。

いの祈り 天のお父様、自分にはないものをほしがるのではなく、自分に与えられているものを一つずつ思い出して、感謝し、満足できますように。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

民数記21・4～9

信じて見上げる

蛇が人をかんでも、その人が  
青銅の蛇を仰ぎ見ると生きた。

民数記21・9

目標

キリストを信じ仰いで、救いの  
恵みを受け取る。

9月19日（日）

聖書  
聖句

民数記21・4～5

しかし民は、途中で我慢ができな  
なり、神とモーセに逆らって言った。  
4～5節

あなたは、「もうがまんできない！」と文句を  
言いたくなることって、ありますか？ イスラ  
エルの民は「…我慢ができなくなり、神とモー  
セに逆らって言った」とありますね。なんと、  
神様とモーセに文句を言った、ということなん  
です。

イスラエルの民は、神様からの恵みがわから  
なくなっていたのです。神様に文句を言いたく  
なる時というのは、神様からいただいている恵  
みがわからなくなっている時。わたしたちも  
神様からの恵み、しっかり思いおこしてみま  
しょう。

祈り

天のお父様、あなたからいただいている  
恵みを思いおこさせてください。

9月20日（月）

聖書  
聖句

民数記21・4～5

われわれはこのみじめな食べ物に  
飽き飽きしている。 5節

モーセひきいるイスラエルの民は、何十年  
も旅をつづけていました。何十年ものあいだ、  
毎日、神様は「マナ」という食べ物をふらせ、  
イスラエルの民に食べさせてくださいました。  
ところが、イスラエルの民は「わたしたちを  
荒野で死なせるんですか？ こんなみじめな  
食べ物は飽きましたよ！」と神様とモーセに  
文句を言ったのです。

神様はいつもたくさんの恵みをくださっ  
ているのに、それが当たり前になると感謝の気持  
ちがなくなり、文句やわがまを言いやすくな  
ります。あなたは、どうですか？

祈り

天のお父様、あなたはたくさんの恵みを  
くださっています。わたしをわがままや  
文句から守ってください。

9月21日（火）

聖書  
聖句

民数記21・6

そこで主は民の中に燃える蛇を送  
られた。 6節

何十年も食べ物を与えてくださっていた  
神様にたいして文句を言うなんて、何とおそろ  
しい罪でしょう。神様は、イスラエルの民のと  
ころへ、燃える蛇を送られました！ かまれた  
人は死んでしまうほどの毒を持った蛇！ この  
蛇にかまれた人々は、次々に死んでしまったの  
です！

イスラエルの民は、これまで何度も神様にた  
いして文句を言ってきました。それなのに、ま  
た同じ罪を犯してしまったのです。でも、これ  
は人ごとじゃない。わたしたちは、同じ罪を  
何度も犯しやすいのです。いつも、神様に守っ  
ていただくように祈りましょう！

祈り

天のお父様、同じ罪を犯しやすいわたし  
を、罪から守ってください。

## 9月22日（水）

聖書  
聖句

民数記21・7

私たちは主とあなたを非難したりして、罪を犯しました。 7節

おそろしい蛇は、神様からの厳しいさばきであることがわかったイスラエルの民。彼らは、自分たちの罪に気づいたのです。彼らはモーセに言いました、「わたしたちは神様とあなたに文句を言い、罪を犯しました。どうか蛇が取りさられるように祈ってください！」。

イスラエルの民がもし、自分たちの罪に気づかなかつたら、みんな死んでしまったことでしょう。わたしたちも、心の中を点検しましょう。罪に気づいたらすぐ！ 神様の前で悔いあらためることが大切です。

いの  
祈り

天のお父様、わたしの心の中の罪を教えてください。気づいたらすぐに悔いあらためることが出来ますように。

## 9月23日（木）

聖書  
聖句

民数記21・8

すると主はモーセに言われた。「あなたは燃える蛇を作り、それを旗ざおの上に付けよ」。 8節

モーセが神様にお祈りすると、神様からびっくりするお答えが返ってきました。「へびをつくって、旗ざお（ほそ長い棒）の上になげなさい。そのへびを見上げた人は生きる」と言われたのです。…え、もうかまれないように、蛇を取りさってくださるんじゃないの？ なんて、そんなことを命じられたんでしょう？

神様は、わたしたちが思いもよらないことを命じられることがあります。でも、「はい、わかりました」とすなおに従うことが大切。神様には、ちゃんとお考えがあるのです。

いの  
祈り

天のお父様、あなたのみことばに、すなおに従うことが出来るよう、助けてください。

## 9月24日（金）

聖書  
聖句

民数記21・4～9

蛇が人をかんでも、その人が青銅の蛇を仰ぎ見ると生きた。 9節

モーセは神様の言われたとおり、青銅で蛇をつくって、旗ざおの上になげました。蛇にかまれた人々が青銅の蛇を見上げると、なんと身体の毒が消えてたすかったのです！

青銅の蛇の力？ いいえ。蛇には何の力もありません。「蛇を見上げたら生きる」という神様ののみことばを信じて、そのとおりにしたから助かったのです。イスラエルの民は、神様ののみことばが本当に正しいことを知りました。神様ののみことばを信じてそのとおりに生きるなら、けっしてまちがった道に行くことはありません。

いの  
祈り

天のお父様、あなたのみことばが本当に正しいことがわかりました。みことばのとおり生きる事が出来ますように。

## 9月25日（土）

聖書  
聖句

ヨハネ 3・14～15

モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられなければなりません。 14節

今日は、イエス様が語られたみことばです。モーセが青銅の蛇を旗ざおにかけたように、イエス様も十字架にかけられる、と言われたのです。蛇の毒が身体にひろがるように、わたしたちの心の中には罪がひろがっています。そのままでは、永遠のほろびが待っているのです。

でも、イエス様の十字架を見上げるなら、イエス様の十字架が、わたしの罪の身がわりだと信じるなら！ おそろしい罪はゆるされ、永遠のいのちが与えられるのです。さあ今、十字架を見上げて、罪からの救いの恵みを受けとってください！

いの  
祈り

天のお父様、今、イエス様の十字架を見上げて、罪からの救いの恵みを受けとります！





聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ルカ 7・36～50  
罪赦された者として  
この人は多くの罪を赦されています。彼女は多く愛したのですから。  
ルカ 7・47

目標

罪を赦された者であることを実感し、キリストを愛して生きる。

9月26日（日）

聖書  
聖句

ルカ 7・47

この人は多くの罪を赦されています。彼女は多く愛したのですから。

47節

あなたは、自分が受けなければいけない罪の罰を、イエス様がぜんぶせおって受けてくださったと知ったとき、どんな気もちでしたか？

この「罪の女」とよばれていた人はきっと、「イエス様がわたしの救い主！」とはっきりわかって、うれしくて、いても立ってもいられなくなり、自分にできるせいっぱいのことを、イエス様におさげしたいと思ったんだね。

わたしたちも「赦されてよかったね」で終わるのではなく、自分にできるせいっぱいの感謝の気もちを、イエス様におさげしよう！

いの

祈り

天のお父様、赦されたよろこびと感謝を、せいっぱいあなたに表します！

9月27日（月）

聖書  
聖句

ルカ 7・36

あるパリサイ人が一緒に食事をしたいとイエスを招いた  
36節

ユダヤでは、先生とよばれる人をまねくことは良い行いで、いっしょに食事をしながらみんなでお話を聞くということがよくありました。中には、「良い行いをしているのを見てもらいたい」と思う人もいたみたい。

このときは、パリサイ人がイエス様をまねきました。でも、パリサイ人はイエス様のことをいつも悪く言う人たちです。

イエス様は、ご自分が試される所であっても喜んで行き、神様のことを伝えました。神様のことを覚えておられたんだね。

いの

祈り

天のお父様、自分のことばかりではなく、あなたのことを思っすごせますように。

9月28日（火）

聖書  
聖句

ルカ 7・37～38

泣きながらイエスの足を涙でぬらし始め、髪の毛でぬぐい、その足に口づけして香油を塗った。  
38節

もし、あなたの近くに救い主イエス様がいたらどうするかなあ？

イエス様は聖くて、わたしは汚れている。イエス様にふれることも、近づくこともできないんじゃないか、と思う人もいるかもしれないね。

でも、この「罪の女」とよばれていた人を見て！ イエス様を信じるなら、だれから「罪人」とよばれていても、イエス様だけはやさしく受け入れてくださり、味方になってくださり、友となってくださるとわかるね！

いの

祈り

天のお父様、こんなわたしでも、受け入れてくださり、友となってくださるイエス様に感謝します。

## 9月29日(水)



ルカ 7・39

この女は罪深い<sup>おんな つみぶか</sup>のだから 39節

パリサイ人<sup>パリサイじん</sup>は、ユダヤ人<sup>じん</sup>の中でも、神様<sup>かみさま</sup>の教え<sup>おし</sup>をキッチリ守ろう<sup>まも</sup>としていた人<sup>ひと</sup>たちです。だからよけいに、神様<sup>かみさま</sup>の教え<sup>おし</sup>を守らない人<sup>ひと</sup>や罪人<sup>つみびと</sup>といわれる人<sup>ひと</sup>、汚れたもの<sup>けが おも</sup>にさわると、自分<sup>じぶん</sup>も汚れる<sup>けが</sup>と思ってき<sup>おも</sup>らっていたのです。

外側<sup>そとがわ</sup>のことばかり気に<sup>き</sup>している間<sup>あいだ</sup>に、じつは罪<sup>つみ</sup>や汚れ<sup>けが</sup>が、「自分<sup>じぶん</sup>の心<sup>こころ</sup>の中<sup>なか</sup>から出<sup>で</sup>てくる」ということ<sup>こと</sup>が分からなくな<sup>わ</sup>っていったんだね。行い<sup>いき</sup>は正<sup>ただ</sup>しくても、愛<sup>あい</sup>がなければ神様<sup>かみさま</sup>の前<sup>まえ</sup>には意味<sup>いみ</sup>がないんだよね。

本当に清く<sup>きよ</sup>されなければいけ<sup>い</sup>なかったのは、このパリサイ人<sup>パリサイじん</sup>だったんだね。

いの

天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、行い<sup>いき</sup>や、外側<sup>そとがわ</sup>の清さ<sup>きよ</sup>ばかりを気に<sup>き</sup>するのではなく、心<sup>こころ</sup>の中<sup>なか</sup>の清さ<sup>きよ</sup>を気に<sup>き</sup>して生きてい<sup>い</sup>けますように。

## 9月30日(木)



ルカ 7・40~42

金貸<sup>かねか</sup>しは二人<sup>ふたり</sup>とも借金<sup>しやっきん</sup>を帳消<sup>ちやうけ</sup>しに<sup>せつ</sup>してやった。 42節

このたとえ話<sup>たとえばなし</sup>の中で大切なこと<sup>たいせつなこと</sup>は、借りたお金<sup>かね</sup>が小さ<sup>ちい</sup>かろうが大き<sup>おお</sup>かろうが、どうやっても返せ<sup>かえ</sup>なかったことと、返せ<sup>かえ</sup>ないはずのもの<sup>もの</sup>がちよう消<sup>け</sup>しにされ<sup>はなし</sup>た<sup>な</sup>って<sup>い</sup>うことだよね。

そして、これは罪<sup>つみ</sup>のお話<sup>はなし</sup>なんだ。どんな小さ<sup>ちい</sup>な罪<sup>つみ</sup>でも、イエス様<sup>イエスさま</sup>を信じ<sup>しん</sup>るまでは、神様<sup>かみさま</sup>の子ども<sup>こ</sup>になれ<sup>な</sup>ないわたしたち。それが赦<sup>ゆる</sup>される！ 罪<sup>つみ</sup>をおかしたこともない者<sup>もの</sup>とされる！ ということ<sup>こと</sup>をどれくらいふかく感<sup>かん</sup>じているだろう？

「罪<sup>つみ</sup>が赦<sup>ゆる</sup>される」ということ<sup>こと</sup>はすごいことだね！ イエス様<sup>イエスさま</sup>、ありがとう！

いの

天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、罪<sup>つみ</sup>が赦<sup>ゆる</sup>されたこと<sup>こと</sup>の大き<sup>おお</sup>さを、ふかく感<sup>かん</sup>じて、わすれること<sup>こと</sup>がありませ<sup>せ</sup>んように。

## 10月1日(金)



ルカ 7・44~47

赦<sup>ゆる</sup>されること<sup>こと</sup>の少<sup>すく</sup>ない者<sup>もの</sup>は、愛<sup>あい</sup>すること<sup>こと</sup>も少<sup>すく</sup>ないのです。 47節

人<sup>ひと</sup>からなにか助<sup>たす</sup>けられたり、してもらったときは「ありがとう」って言うよね？ そして、その人<sup>ひと</sup>のことがすっごく好き<sup>すき</sup>になっておかえししたいし、役<sup>やく</sup>に立ちたい<sup>た</sup>って思<sup>おも</sup>うよね。

これは罪<sup>つみ</sup>が赦<sup>ゆる</sup>された人<sup>ひと</sup>のしぜんな変化<sup>へんか</sup>。神様<sup>かみさま</sup>をよろこばせたい、イエス様<sup>イエスさま</sup>の役<sup>やく</sup>にたちたいって気<sup>き</sup>もちで、毎日<sup>まいにち</sup>をすごくすようになるよ。

良いこと<sup>よいこと</sup>をするから神様<sup>かみさま</sup>に愛<sup>あい</sup>されるんじゃない、神様<sup>かみさま</sup>がまずわたしたちを愛<sup>あい</sup>しておられることを知<sup>し</sup>ろう。そして、こんどは、あなたが、だれかを愛<sup>あい</sup>し、赦<sup>ゆる</sup>していく人<sup>ひと</sup>になろうね。

いの

天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、まずあなたが愛<sup>あい</sup>し、赦<sup>ゆる</sup>してください。感謝<sup>かんしゃ</sup>します。わたしも、あなたと人<sup>ひと</sup>を愛<sup>あい</sup>する子ども<sup>こ</sup>としてください。

## 10月2日(土)



ルカ 7・48~50

罪<sup>つみ</sup>を赦<sup>ゆる</sup>すこと<sup>こと</sup>さえするこの人<sup>ひと</sup>は、いったいだれなのか。 49節

世界<sup>せかい</sup>には、神様<sup>かみさま</sup>がいるとは信<sup>しん</sup>じていても、どうしてイエス様<sup>イエスさま</sup>が救<sup>すく</sup>いぬし主<sup>ぬし</sup>じゃないといけ<sup>い</sup>ないのかわかんない人<sup>ひと</sup>たちがたくさんいるんだ。

そんな人<sup>ひと</sup>たちの目<sup>め</sup>から見<sup>み</sup>れば、イエス様<sup>イエスさま</sup>を「いったいだれなの？」と思<sup>おも</sup>うよね。

でも、自分<sup>じぶん</sup>の罪<sup>つみ</sup>のこと、神様<sup>かみさま</sup>の愛<sup>あい</sup>のこと、イエス様の十字架<sup>じゆうじか</sup>のことを知<sup>し</sup>れば知るほど、イエス様<sup>イエスさま</sup>じゃなきゃだめなんだって、わかるね。

どうか、先に知<sup>し</sup>ったあなたから、まだ知らない人<sup>ひと</sup>たちへ、イエス様のことを伝<sup>つた</sup>えてい<sup>い</sup>ってくださいね。

いの

天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、イエス様<sup>イエスさま</sup>を何者<sup>なんもの</sup>か分<sup>わ</sup>からない人<sup>ひと</sup>に、少し<sup>すこ</sup>でもその意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>を伝<sup>つた</sup>えてい<sup>い</sup>けますように。